

Tomorrow

仲田一彦
県政報告

みき

発行 仲田一彦事務所

〒673-0413 三木市大塚2丁目1-41
TEL0794(83)3332 FAX0794(83)6680
ホームページ http://www.nakata-web.com

資源を生かした地域づくりへ

仲田一彦県会議員は、平成25年度予算を審議する第317回定例県議会で一般質問に登壇しました。①道德教育の充実へ向けた修身の活用②教科「日本語」の推進③グリーンピア三木の積極的活用④山田錦の需要拡大につながる日本酒の消費拡大⑤県立高校へのゴルフコース設置—の5項目について、提言を交えて質問しました。

平成25年度予算審議・一般質問に登壇 課題踏まえて持論を展開

道德教育の充実へ修身活用を

非行少年が出た場合、その親が教育勅語や修身を教えられた世代の場合は指導の成果が上がった—と渡部昇一氏監修の『国民の修身』を引用しながら「正しい日本人の姿を描いた修身を今こそ学ぶべきだ。家庭、学校教育において修身の要素を学習に取り入れるべきと考える」と持論を述べました。

大西教育長は、県版道德教育副読本に「勤勉勤労」「朋友」など修身徳目の多くを継承したほか、「生命尊重」「自然への畏敬」「共生する心」など新たな道德価値も取り入れたことを説明、「今日的な課題を反映した新たな概念も入れ、一層の充実を図る」と答えました。

教科「日本語」取り入れた教育進めよ

仲田県議は「世田谷『日本語』教育特区」を例に、日本語教育の大切さと文科省の認可があればどの自治体や学校でも実施できることを説明。「日本の和歌・俳句・古文などの朗読を通して文学的素養を身につけ、四季の美を味わうことが大事。教科『日本語』を取り入れた教育の推進を」と訴えました。

大西教育長は、全小学校での「ことば科」(伊丹市)、全中学校での短

歌創作(加古川市)や古典の暗唱(姫路市)などの事例を挙げ、「県が進

グリーンピア三木積極活用図れ

民間業者への貸付期間が満了する平成27年12月以降、仲田県議は「三木総合防災公園と連携した西日本の防災拠点として、平時は滞在型施設を兼ね備えた大規模コンベンションホールとして東アジアからの誘客を図れ」と提案。井戸知事は有力な案として検討すると答えました。



一般質問で持論を交えて県当局の姿勢をたずねる仲田一彦県議

山田錦の需要拡大取り組み

仲田県議は「酒米山田錦の需要を拡大するには、20歳代をターゲットにした質の高い酒を飲む機会の提供と、積極的な海外進出が必要だ」と県の取り組みを促しました。井戸知事は「楽しみな

がら日本酒に親しむ機会の提供をさらに強化したい。また海外での日本食ブームによる日本酒の評価も高く、県内酒造業者の協力で香港の百貨店での販促や商談会を積極的に進める」と答えました。

県立高校にゴルフ科設置しては

仲田県議は「ゴルフ場という地域資源を生かして、県立高校にゴルフコース(科)を設置し、世界に誇れるゴルファーを育ててはどうか」と提案しました。市民ゴルフが盛んで優良農地が多くあり寮生活の食材調達にも恵まれていることや特区

制度の活用で実現の可能性があることを力説。教育長は「ゴルフを授業に取り入れている高校の実践を充実・発展させ、成果を検証しながら研究・検討していきたい」と生徒や保護者、地域のニーズを踏まえていく考えを示しました。

県会議員 仲田一彦

春たけなわの好季節を迎えました。平素からのご厚情に心よりお礼申し上げます。

第2次安倍政権が発足して3カ月余。

「10年以上にわたるデフレからの脱却は人類史上、劇的な取り組み」と安倍首相は、使命感と意気込みを語りました。これは、低迷した経済を真っ先に経験した日本が、その脱出方法を世界に先駆けて示すことの出来る歴史的な試みでしょう。

こうした期待感から、株価に見られるような好評価を得ています。しかし、期待先行の感は否めず、今後、実体経済への成果が得られる取り組みこそが求められています。

私は、地域の元気が兵庫、日本の再生につながると主張してきました。この意味で地方自治体と政策の連携を図り、整合性を取り、実効を高めることが極めて重要です。地場産業を含む中小企業は、県内事業所の99%、雇用の場の80%を占めています。兵庫経済を支える中小企業への支援なくして、経済の活性化はないと確信しています。

さて、今夏には政治決戦となる参院選、同日選で知事選が行われます。先の定例県議会で、井戸知事は、4選出馬を表明しました。わが党では、調査検討委員会を設置し、3期12年にわたる井戸県政を総括評価したうえで政策協定を結びました。東日本大震災への復興支援、行革推進への真摯な取り組み、そして地方分権を拓く関西広域連

合の連合長としてのリーダーシップを評価し、次代を担う最適者としたものです。

耳障りの良い言葉や衆に迎合することなく、真に明日を託すにふさわしいリーダーを選ぶ見識を持ちたいものです。日本再生の鍵は地域の発展にあり、地方分権の進展は、地方自治体・地方議会の真価が問われていることを意味します。

現場を大切にビジョンを持ちつつも、きめ細かな地域の願いに真摯に答えていくことをお誓いしごあいさついたします。



経済活性化へ地方自治体との政策連携を

安全安心、経済雇用対策に重点

総額3兆2,377億円にのぼる平成25年度県当初予算案を審議していた第317回定例県議会は、3月25日、上程議案を原案通り可決、閉会しました。議事終了後、井戸敏三知事が、7月4日告示、同21日投開票の知事選挙への出馬を表明。「兵庫人として、未来を切り開く責務がある」と決意を語りました。

平成25年度予算案を原案通り可決

25年度予算は、一般会計1兆9581億円で、対前年度比2.9%減となりましたが、防災インフラの整備や道路、橋梁など社会基盤の老朽化対策に重点を置いた内容。また、経済・雇用対策に力を入れ、企業立地の支援制度の創設、中小企業への融

資枠の拡大、若者の就業支援など経済の活力アップに意を用いています。

公共事業を中心とする投資的経費は1808億円で、12月及び2月補正を連結させた「16カ月予算」では29.7%増の2450億円となり、平成21年以降で最大規模。既存の

事業にとらわれない「チャレンジ枠」も創設し、計41事業約12億4千万円を計上、メタンハイドレート

兵庫県平成25年度当初予算案

一般会計	1兆9,581億円	▲2.9%
特別会計	1兆872億円	11.6%
公営企業会計	1,924億円	8.1%
総額	3兆2,377億円	2.2%

(注)は前年度当初比の増減率、▲はマイナス

調査など知恵を凝らした試みに取り組みます。

北播磨関連では、新たに▷NHKの大河ドラマ「軍師官兵衛」放映決定を受けて、黒田官兵衛ゆかりの地のPRや市町事業への支援▷「播磨国風土記」編纂1300年記念事業の展開▷三木金物元気づくりへの支援▷山田錦

ビジネスへの挑戦など多彩な事業を実施。また、旧三木鉄道跡地を「別所ゆめ街道」として遊歩道を整備するほか、県道・市町道の危険箇所を解消する「歩行者にやさしいみちづくり」の総仕上げ、有害鳥獣対策の推進などが盛り込まれています。

予算編成に先立って重要政策提言を申し入れ

自民党県議団では、県の当初予算編成に向けて「重要政策提言」と、それらの項目をより具体化した「政策申し入れ」を行いました。

昨年9月の重要政策提言では、新たな産業の創出や技術開発、経済・雇用対策の充実など計33項

目の政策を提出。11月の申し入れでは、「労働力人口の減少」「学校や地域の教育力低下」「大規模災害の未然防止」「経済・雇用対策」などを指摘し、220項目を提言、多くの事業が予算に反映されました。

フランス・ランブイエ市役所の議場で同市議員、職員らと



欧州を調査視察 環境問題など最前線に

仲田県議は、昨年11月25日から12月1日まで自民党県議9人で構成する西欧調査団に参加、オランダ、ドイツ、フランスを視察しました。訪れた各都市で都市計画担当職員らの説明を受け、現地調査を行いました。

「まちづくりや道路整備をはじめ、歴史・文化を生かした観光都市づくりに際して、地球規模の視点に立った環境への配慮がなされていることを痛感した。環境だけでなく少子化対策についても国と地方とのあり方で貴重な示唆を受けた」と成果を振り返り、「政策に生かしていきたい」と語っています。

現場主義に徹して 精力的に調査活動



P Tのメンバーで、党本部を訪れ石破幹事長と意見交換

地方分権P Tに参画 道州制あり方など研究

仲田県議は党総務部会地方分権推進プロジェクトチームに参画しています。研修会や意見交換会などを開いており、3月22日には1年間の活動報告会も実施。昨年の道州制についての研修会では、党道州制推進本部参与・久世公亮元参議院議員による講演を聴いたあと意見を交わしました。仲田県議は「関西広

域連合の動きや道州制あり方などが議論されている中で研究を重ねてきた。しっかりと発信していきたい」と語っています。

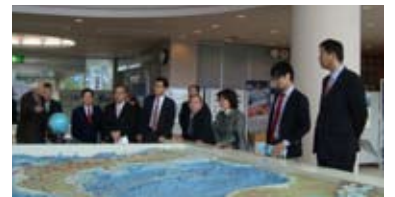
産労常任副委員長として 経済・雇用対策探る

県議会産業労働常任委員会の副委員長を務めている仲田県議は、「景気回復と雇用確保が最重要課題だ」と認識を述べ、委員長を補佐しながら調査・視察活動をリードしています。委員会



口銀谷の町並みをつくる会の皆さんから意見をうかがいました

では中小企業への経営支援や科学技術の振興など地域産業の元気回復と新たな活力の創造、多彩な雇用・就業システムの整備について審査しています。



山陰海岸ジオパーク館を視察、職員の説明に耳を傾ける

後援会総会を開催 地域づくりに決意

仲田県議の後援会総会には、藪本市長や300人を超える支持者の方々が参加しました。あいさつに立った仲田県議は日頃の支援に感謝を述べるとともに「皆さんとともに三木市の未来を考え、ともに行動する」と決意を語りました。



山田錦ビジネスへ挑戦

日本貿易振興機構と連携し、海外バイヤーを招聘した商談会の開催と現地視察のほか、作付け面積拡大や中米の新商品も開発します。

三木金物元気づくり支援

三木金物が持つ職人の卓越した技術力を発信し、販路開拓を促進。イベント「鍛冶でっせ」での販促活動を支援します。

医療・福祉包括ケアシステム

本人の同意のもと、電子カルテを管内の病院、診療所、介護・福祉施設で共有し、患者本位のサービスを提供します。

平成25年度予算から 三木市関係事業

ため池の実態調査を踏まえて管理や改修を推進するのをはじめ、安全教室、全小学校でのチラシ配布のほか、白池に水位判断計を設置し、効果の検証を行います。

北播の鉄道利用を促進

北播磨の鉄道ネットワークを担うJR加古川線、神鉄粟生線、北条鉄道の利用を促す沿線ガイドの発行、婚活列車の運行などを実施。

「北播磨おいしんぼ館」充実へ

神戸元町商店街にある同館の魅力を発信するため、2階の一層の活用推進や元氣市、5市1町のイベントを支援します。